

# I P D 事業の実施状況について

2026年5月

日本技術士会

1. 登録状況
2. 周知活動
3. 今後の予定

# 1. 登録状況 (5月14日現在)

(1) IPDアカウント登録申請者 93人 (3月：19人、4月：38人、5月：36人)

(2) 会員・非会員の内訳 準会員73人 (78%)、非会員20人 (22%)

(3) 部門 (14部門) 別の内訳

機械 (11 12%)、電気電子 (11 12%)、化学 (4)、金属 (1)  
建設 (33 35%)、上下水道 (6 6%)、衛生工学 (3)、農業 (2)  
森林 (2)、水産 (1)、経営工学 (6 6%)、情報工学 (8 9%)  
応用理学 (2)、環境 (3)

(4) 年代別の内訳

20代 (11 12%)、30代 (30 33%)、40代 (21 23%)  
50代 (20 22%)、60代 (8 9%)、70代 (3 1%)

1. IPDアカウント登録状況 (2026.05.14現在)

	3月	4月	5月	計
登録申請者数	19	38	36	93
準会員	12	28	33	73
部門				
01機械部門	4	5	1	10
02船舶・海洋部門	0	0	0	0
03航空・宇宙部門	0	0	0	0
04電気電子部門	1	6	3	10
05化学部門	0	1	2	3
06繊維部門	0	0	0	0
07金属部門	0	0	1	1
08資源工学部門	0	0	0	0
09建設部門	3	8	10	21
10上下水道部門	0	2	2	4
11衛生工学部門	0	0	2	2
12農業部門	0	2	0	2
13森林部門	1	0	0	1
14水産部門	0	0	1	1
15経営工学部門	1	0	4	5
16情報工学部門	1	3	4	8
17応用理学部門	0	1	1	2
18生物工学部門	0	0	0	0
19環境部門	1	0	2	3
20原子力・放射線部門	0	0	0	0
年代				
20代	1	5	3	9
30代	7	10	6	23
40代	3	8	6	17
50代	1	5	8	14
60代	0	0	7	7
70代	0	0	3	3

非会員	7	10	3	20
資格内訳				
技術士補	1	2	2	5
一次試験合格者	5	7	1	13
JABEE修了者	1	1	0	2
部門				
01機械部門	0	1	0	1
02船舶・海洋部門	0	0	0	0
03航空・宇宙部門	0	0	0	0
04電気電子部門	1	0	0	1
05化学部門	0	1	0	1
06繊維部門	0	0	0	0
07金属部門	0	0	0	0
08資源工学部門	0	0	0	0
09建設部門	3	6	3	12
10上下水道部門	1	1	0	2
11衛生工学部門	1	0	0	1
12農業部門	0	0	0	0
13森林部門	1	0	0	1
14水産部門	0	0	0	0
15経営工学部門	0	1	0	1
16情報工学部門	0	0	0	0
17応用理学部門	0	0	0	0
18生物工学部門	0	0	0	0
19環境部門	0	0	0	0
20原子力・放射線部門	0	0	0	0
年代				
20代	1	1	0	2
30代	3	3	1	7
40代	0	4	0	4
50代	2	2	2	6
60代	1	0	0	1
70代	0	0	0	0

## 2. 周知活動

### (1) 説明会等の開催

2025/12/09 2025年第3回地域本部長会議

12/23 関東8県 県支部長会議

2026/01/24 大学技術士会連絡協議会総会（加盟24校56名）

02/17 2025年度第4回部会長会議

3/4～3/11 関係省庁説明（環境省、厚労省、農水省、国交省）

03/23 第5回CPD活動関係学協会連絡会（15学協会）

04/04 修習ガイダンス2026（178名）

04/18 青年技術支援委員会一次・二次試験合格者交流会（73名）

05/14 賛助会員懇談会（154社）

05/23 令和7年度技術士二次試験合格者研修会(CPD対象者向け)

## 2. 周知活動

### (2) 資料配布

- ・ 一次試験合格者チラシ配布（一次試験合格者 5,754名）
- ・ 一次試験合格者フライヤー（参考1）配布（修習ガイダンス2026）

### 3. 今後の予定

#### (1) Webシステムの段階的整備（第二段階 2026年度以降）

- ・ 講演会への参加システム  
（準会員はすべての講演会への申し込みが可能。  
未入会の方は、現在は一般向け講演会への申し込みが可能）
- ・ Peラーニングへの参加  
（現在は準会員、未入会の方とも参加できない）
- ・ 登録証明書の自動発行（参加者が少ないことから保留）  
（事務局で連絡を受けてアナログ対応で発行）

#### (2) インセンティブの検討

#### (3) 広報先の検討

## (参考1) 一次試験合格者フライヤー

2026.4.2版

### 知っていますか？ 日本技術士会の IPD事業 のこと

**IPD事業** とは・・・

技術士を目指す修習技術者<sup>(注1)</sup>のみなさんが、求められる資質能力を効果的に獲得できるようご支援することを目的とし、日本技術士会が2026年3月に立ち上げた事業です。

本会準会員の方に限らず、修習技術者であれば、どなたでも参加できます。

■ このような方におすすめです

- 効果的に技術士資格を取得したい
- 技術士を見据え計画的に研さんしたい
- 修習技術者の研さん環境を整えたい

修習技術者  
継続研さん  
IPD

技術士資格の  
取得・登録

→

技術士  
継続研さん  
CPD

CPD事業

- 講習会等行事の閲覧
- 参加申込み、行事参加
- 活動実績の登録、閲覧
- 活動実績の証明など

**NEW**

**IPD事業**  
2026年3月25日にスタート！  
CPD事業と同等のサービスを提供

日本技術士会のホームページからIPD登録アカウントの取得申請の手続きが必要です

■ IPD事業とは

生涯にわたり一貫した整合性のある技術研さんを行うため、修習技術者が実践するIPDについて、CPDと同様に証跡のある活動記録として統合管理できる環境を提供します。

(注1) 修習技術者とは、下記の「技術士補となる資格」を有する方です。

- 技術士第一次試験に合格
- JABEE 認定課程を修了

### ◆ メリット

IPD事業に参加すると、「修習技術者としての技術研さん(IPD)」と「技術士資格を取得した後の技術研さん(CPD)」を、証跡のある活動記録として一元的に管理できます。これにより、以下のメリットが期待されます。

期待される効果(メリット)

(IPD事業の参加者) 技術士を目指す修習技術者

シームレス

(技術士資格を取得した後) 技術士

- 技術士会が提供する講習会や見学会など 広範で多様な学びの機会の獲得
- 技術士と同様な視座での自らの学びを俯瞰
- 学びの蓄積の客観的把握・振り返り・証明
- 資質バランスの偏重・弱点発見
- 初期専門能力開発(IPD)の効率化・一層の促進

- 自らのIPDとの関係を認識したCPDの実践
- 技術士としての専門性の深化
- 専門周辺の知識の獲得・技術領域の拡張

### ◆ IPD事業への参加費用

IPD登録アカウント取得および活動実績WEB登録の手数料

- ・本会未入会の方： 1年度当り2,000円 (4月から翌年3月を1年度)
- ・本会準会員の方： 無料

日本技術士会が提供する各種IPD行事等の参加費

- ・1行事あたり 500円～2,000円程度※

※ 行事ごとに主催者が決定する金額

### ◆ IPD登録アカウントの取得申請 (IPD事業への参加)

日本技術士会HPから申請してください。

HP上部のタブ「修習技術者IPD」

↓

IPD登録・証明書発行など

↓

IPD登録アカウントの取得申請について

### ◆ 準会員の方へ

IPD事業にご参加 (IPD登録アカウントを取得) いただきますと、新たに以下のサービスを受けることができます。準会員の方は、IPD登録アカウントの取得費用が無料ですので大変お得です。是非、この機会にIPD事業にご参加ください。

<p>準会員アカウント(会員ID)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会等行事の閲覧</li> <li>・参加申込み、行事参加</li> </ul>	+	<p>IPD事業へ参加 (アカウント取得・無料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動実績のWEB登録、閲覧</li> <li>・活動実績の証明</li> </ul>
---	---	---

詳細は日本技術士会 HP [ [https://www.engineer.or.jp/c\\_topics/011/011645.html](https://www.engineer.or.jp/c_topics/011/011645.html) ] の「最新情報」に掲載の「IPD事業の開始について」をご参照ください。

■ 問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
 公益社団法人日本技術士会 技術士CPD・修習技術者IPDセンター  
 電話： 03-3459-1331 e-mail: ipd-shinsa@engineer.or.jp